



第16回上津江産業文化祭でのラストステージ

上津江町の人口と世帯(12/1)
 [人口] 703人
 [世帯数] 356世帯
 [高齢化率] 53.2%
 [文責] 上津江振興局長

No.84

令和3年12月15日発行

上津江
振興局
だより

自分に自信を持てる 子どもに

かみつえ酒呑童子太鼓・
津江っ子太鼓33年間



20周年時のメンバー(左)、結成時のメンバー(右)

「かみつえ酒呑童子太鼓」は昭和63年3月に小学生有志5人によって「上津江村のちびっ子PR隊」として、子どもの自主性、社会性、自信づくりを目指して結成され、日田市内や九州、国内、海外でも多くの演奏を行ってきました。

子どもの減少によって、チームの存続が難しくなり、平成22年から上津江小学校の「津江っ子太鼓」として新たに活動を始め、平成26年には津江小学校に引き継がれ、活動を続けてきました。

その津江っ子太鼓も令和3年をもって活動を終えることとなり、ラストステージとなった11月23日の上津江産業文化祭での発表をもって多くの人に惜しまれて33年間の幕を閉じることになりました。

長年親しまれた太鼓は、酒呑童子太鼓卒業生が進学した大分市の楊志館高校邦楽部に寄贈されました。

平成29年産業文化祭(右)



令和3年
産業文化祭
(左)



「日田郡青少年の家」落成式
(韓国慶州市)(左上)
2度目のTAOとの共演(左下)
台湾での交流会(右)

精神面・交流面で たくさんの経験

浦前 優一さん
(元かみつえ酒呑童子太鼓父母の会)



台湾や韓国、TAOとの共演など子どもたちにとって良い思い出になったと思います。自分も年間何十回も演奏について行きました。上津江村にとっての貢献度もすごかったと思います。「かっこいい!やりたい」から始まり、うちの子はみんな5~6歳から入りました。太鼓の技術だけでなく、高学年になるとチームをどうまとめるかを考える立場になり、太鼓を通して精神面や交流面でたくさんのいろいろな経験をすることができたと思います。

子どもたちに自信 を持ってほしい！ ～太鼓で「やればできる」体験を～

指導者
井上
裕子さん
(小平上)



一何で太鼓を始めたのですか？

当初ピアノを教えていて、子どもたちが声を出せない。子どもの気持ちを解放させるにはどうしたらよいか考えました。ピアノは1人だけど、太鼓はチームでできる。竹田の先生に習って5人の子ども達と一緒に太鼓を始めました。

一酒呑童子太鼓での思い出は？

海外にも4回行き、イベント等も多くて父母会も大変だったと思います。子どもたちに自主性、自信と集中力を付けさせたい。礼儀や挨拶、お礼状書き、1分間計算な

どもやっていました。準備でも自分が今何をできるのかを考える。

鹿町町との交流は今も続いていて大切にしたいです。

一津江っ子太鼓での思い出は？

小学校では限られた授業数で教えるのが難しかった。学年のカラーを生かした演奏ができるように毎年変化を付けていました。子どもたちにどこが悪かったのかを振り返らせ、自分で何かに気づく。そしてぐっと良くなる。子どもたちに伝えたいことはずっと同じです。

一今回太鼓指導が終了となった経緯を教えてください。

大きい理由は自分の年齢的な問題と児童数の減少です。

年齢とともに頭の切替えや時間のやりくりがしんどくなってきて、指導でもぱっと止めないといけないうちに流してしまったり。中途半端ではいけないと思いました。

そして児童数も少なくなってきて。酒呑童子太鼓では最後1人になり、その子は、やりたかったのにできなくて本当に申し訳なかった。地域の人から続けられないか

という声もあり、残念な気持ちは自分もある。校長先生ともずっと話してきました。人数がいるうちに津江小の新しい文化をつかって次に繋げてほしいと思います。

一子どもたちに伝えたいことは？

最初から「できないのは当たり前」。失敗してもやり直せる。やればできる！できないことにチャレンジして、できると嬉しい。自信になる。太鼓はあくまでも学ぶ「手段」。この経験を生きる基礎に自信をもってまちに出てほしい。



津江っ子太鼓の練習風景

一地域の人たちへメッセージをお願いします。

関心を持ってくれる周りの人がいてくれてこそ続けることができました。地域の人がずっと聴いて支えてくれたことにも本当に感謝しています。ありがとうございました。

和太鼓は自分を 表現する貴重な体験

津江小学校 5年担任
吉田 栄子先生



津江っ子太鼓が始まった当時、上津江小学校に勤務しており、和太鼓とは長い付き合いをさせていただきました。初めは私も習いながら一緒にやっていました。

和太鼓はまず声を出すのが難しく、練習して自信がつくと声が出せるようになります。また心を一つにしないとバラバラになります。発表前には6年生を中心に朝練も頑張りました。和太鼓ができるのは本当に貴重なこと。大勢の前で自分を表現する良い経験だと思います。津江っ子太鼓が子どもたちの大切な思い出として残ってくれるといいなと思います。

良い出会いと経験に 感謝しています

中雉谷 都崎 恵美子さん
(元かみつえ酒呑童子太鼓父母の会)



太鼓がここまで続けられたのは、裕子さんの努力と根性。本当にすごいと思います。子どもが太鼓に入ったときは何でこんなめんどくさいのに入ったのかとも思ったけど、本当に良い出会いをさせてもらいました。裕子さんには本当に感謝しています。自分一人で育てたらあんな経験はさせきってない。子どもが就職して「裕子先生に鍛えられちよるけん、少々のことではめげんよ。根性もらちよるけん」と話してくれます。親戚以上の付き合いの父母会の中で、自分も良い経験ができたと思います。

大きな声が出せるように

畑中

川津 彩愛さん
(津江小学校 6年)



私は6年になって声やふりが大きくなって、いい演奏ができるようになりました。私がきんちようしていると井上先生が「だれでも失敗はある」と言ってくれてとても安心でき、自信につながりました。私は、和太鼓をやって今大きな声を出すことができます。

苦手な太鼓が嬉しい体験に

池の山

内間 心春さん
(津江小学校 6年)



私は5年生ではかねを担当しました。最後のかけ声を言うため、井上先生に厳しく指導してもらいました。その時は和太鼓がこわくていやだなと思っていました。本番では少し速くなり、怒られると思ったけど、優しくほめてくれて、すごくうれしかったのが心に残っています。

自分から声を出す力

葛

奥村 佳苗さん
(津江小学校 6年)



和太鼓を2年間して成長したと思う所は自分から声を出す力です。和太鼓では、リズムを口に出しながら打ったり、かけ声を言ったりするので自分から大きな声を出せました。和太鼓でついでに「自分から声を出す力」をこれからの学校生活で返事やあいさつに生かしたいです。

太鼓を通して「自分に自信を持てる」貴重な体験ができました！

大人になったときの「生き方」を学ぶ

白草 古川 琴絵さん
(かみつえ酒呑童子太鼓OB 2回生)



先輩やいとこが習っていて太鼓を始めました。当時は違う小学校の友だちに会って、いろんな場所に行って太鼓をたたくのが楽しかった。指導は厳しかったけど、先生は生徒のことを分かってくれてる。大変と思ったことはなかったです。たくさんの大人に会い、大勢の前で話した経験で自分に自信がついたし、人に対する壁がなくなりました。大人になって集団生活や上下関係でも悩むことはなかったです。太鼓だけでなく「生き方」を学べたと思います。

日々の生活で大切なことを学ぶ

浦 川村 有沙さん
(かみつえ酒呑童子太鼓OB 3回生)



姉たちの影響で気づいたらばちを握っていました。当時は太鼓を叩くのが気持ちよくて楽しく、見てくれた人から「すごく良かったよ」と喜んでもらえるのがとても嬉しかったです。台湾などいろいろな場所に行って、人前で自分を表現したり、話をしたりする機会はなかなかない。先生は厳しい中でも優しく、第2の母親みたいな感じで、太鼓以外にもあいさつや日頃の生活で大切なことを教えてもらいました。今になって本当にやって良かったと思います。

父母会は今でも大切な仲間です

西雉谷 宮木 淳さん
(元かみつえ酒呑童子太鼓父母の会)



TAOの共演や台湾、マレーシアでの演奏、長崎県鹿町町との交流など、夏休み返上で毎日練習して、いろんなところに行かせてもらいました。私たちも子どものためと思って頑張りました。子どももみんなで頑張る楽しさや達成感を味わうことができ、今の仕事にも繋がっていると思います。こいのぼりを使った衣装作りなど、今考えてみると楽しかったです。父母会は遠慮のない関係で今でも仲間みたいな気持ちです。

人前で緊張しない頑張ったら自信がつく

西雉谷 宮木 慶さん※八女市在住
(かみつえ酒呑童子太鼓OB 12回生)



怒られてばかりで最初はえらいところに入ったなと思いました(笑) 練習はきつかったけど、いやではなくて、友達もいっぱい楽しかったです。男友達で練習の合間にいたずらして怒られたりもしました。先生は真剣に怒ってくれて、もう1人のお母さんでした。みんなと一緒に何かをして、拍手をもらって褒められると嬉しい。がんばって成果が出たら「やってよかった!」と自信がつく。太鼓で「人前で緊張しない」ようになり、高校でも仕事でも役立っています。

職場探訪

地元企業やそこで働く人を
紹介します！

第3回 オートポリス



平成2年にオープンした国際公認サーキット「オートポリス」は、設立会社の破産や上津江村への無償譲渡などを経て、平成17年に川崎重工業株式会社が購入し、現在、「株式会社オートポリス」として運営を行っています。主な事業は、モータースポーツレースの運営、貸切、ファミリーイベント、新車発表会等です。現在の従業員は48人（内パート17人）で10人が日田市内、他は菊池など熊本県内から通っています。総務、営業、レース管理、施設管理等の業務を行っています。

◆今年是国内最高峰の4レースを開催

一番のメインは4輪や2輪の日本最高峰のレース開催です。令和3年もスーパーフォーミュラをはじめ、4つのビッグレースを開催し、走行会や地方選手権、イベント等も行っています。2年ぶりに開催されたスーパーGTではコロナ禍の影響で入場者が少し減少しましたが、2日間で16,000人が来場しました。

◆体験走行や場内宿泊もできます

本格コースを愛車で走りたい方は、先導車付き体験走行やライセンス会員によるスポーツ走行ができます。また最終コーナーを見渡せるコースサイドのロッジやキャンプサイトでの場内宿泊もおすすです。雄大な景色の中で一日中モータースポーツの雰囲気を楽しむことができます。

◆地元にも愛される施設に ～永原社長のお話～

設立後30年が経ち、上津江をはじめ日田の皆さまのご支援、ご協力でごここまでやってこれることができました。上津江は、水や食事がおいしく、自然が豊かですばらしい場所です。これからも地元にも愛され、支持されるように頑張っていきたいと思っております。



永原健司社長



朝ミーティングの様子



一般営業担当の藤澤正宏さん(左・右上)は「お客さまが笑顔で楽しんでくれることが嬉しい。ここの良さや魅力をもっと伝えたい」、施設管理担当の坂田正一さん(右下)は「広大な施設の管理は難しいが、車やバイクの楽しさを伝えられる施設にしたい」と話してくれました。



レストランは主に女性2人で頑張っています。

農振除外の申請受付を一時停止します

農業振興地域整備計画の全体見直し作業を令和3～4年度にかけて行います。それに伴い、農振除外の申請（随時変更）受付を一時停止します。

令和3年に農振除外の申請を希望する人は、下記期限までに申請してください。

○農振除外申請受付の一時停止期間

令和4年1月1日～令和5年3月31日

○令和3年中の申請受付期限 **12月28日（火）**

【問合せ】農業振興課 22-8211（市役所3階）

周辺地域活性化対策事業補助金の活用について

上津江町内に居住する住民等で組織する団体のまちづくり活動や地域の活動に対し、補助金を交付します。

○対象事業 上津江町全体や限られた地域の活性化推進事業

○対象経費 事業を実施するために必要な経費

（食糧費や人件費など対象外の経費もあります）

○補助率（補助上限は50万円）

- ・町内の限られた地域を対象 事業費の6割以内
- ・町内全体の振興に寄与 事業費の8割以内

※詳しい事については下記まで連絡をお願いします。

【問合せ】上津江振興局総務振興係 55-2011

KCV（テレビ・インターネット）の申込はお済みですか？

現在水郷テレビ（インターネット含む）を利用している世帯はKCVの申込をしていないと来年4月1日から全てのテレビチャンネル及びインターネットの利用ができなくなります。

申込がお済みでない方は、早めの手続きをお願いします。

【問合せ】

情報統計課 22-8229

上津江振興局総務振興係

55-2011

65歳以上のドライバーの皆さまへ

安全運転支援装置の補助があります

高齢者のペダル踏み間違いによる事故が多く発生しています。運転に少しでも不安のある方は、「安全運転支援装置」を取り付けてみませんか。

【安全運転支援装置とは】

- ① 踏み間違い加速抑制装置
（ペダル踏み間違いによる急発進を抑制）
- ② 安全運転支援機能付ドライブレコーダー
（車線逸脱や先行車接近時に警告音を発出）

最大各22,000円の補助が出ます！

（各補助率1/2 上限22,000円）

※補助の詳細は下記までお問い合わせください。

【問合せ】上津江振興局総務振興係 55-2011

水道管の凍結にご注意ください

気温が低くなると水道管が凍って破損する可能性が高くなります。水道管に保温材を巻くなどの防寒対策をしましょう。蛇口から少量の水を流すのも有効ですが、出し過ぎには注意してください。

○凍結してしまったら

自然に溶けるまで待つことをおすすめします。

※どうしても早めに使用したい場合

蛇口を開けた状態で水道管にタオルを巻きつけ、ゆっくりとぬるま湯をかけてください。熱湯を使用すると管が破裂する恐れがあります。

○破損してしまったら

水道メーターボックス内のバルブを閉め、水を止めてから水道工事店に修理を依頼してください。

【問合せ】上津江振興局産業建設係 55-2011

丑年生まれのペンリレー

年男・年女の方に思うことを書いてもらうコーナーです。来年は寅年の皆さんです。原稿をお待ちしています！

ふりかえり・・・

葉迫 安岡 良治さん

1990年、バブル景気の真っ只中そのサーキット「日本オートポリス」はF1開催を目的として当時の上津江村(人口1,400人強)の尾の岳に建設されました。



私は子供の頃から家業の農林業を継ぐため何のためらいもなく農業高校から農業実践大学校を卒業し、20歳で上津江に戻り、椎茸・畜産・林業で生計を立てるお百姓さんになっていました。

そんな私に転機が訪れたのは28歳の時です。母と父が相次いで体調を壊し一緒に仕事が出来なくなった為、私の辞書には無かった(これまで考えもしなかった)サラリーマンになるため転職することにしました。就職先はオートポリスにエネルギーを供給するためのガソリンスタンド(九州ニチガス)でした。

しかし、1992年のバブル崩壊とともにサーキットは倒産して当時の上津江村に抵当権付き無償譲渡されました。この後、上津江グリーン商事の運営するオートポリスに吸収合併され、現在の川崎重工業で働き、無事に退職を迎えることができました。

この間、約31年間に渡り、なかなか経験する事のできない仕事に携わり、たくさんの方々に出会い助けられたことに感謝しています。これから家族に感謝し、7人の孫の成長を楽しみに地域の皆さんと共に生活していきたいと思います。

追伸:まずは、70歳まではバイクに乗りたいなあ～(^^)

還暦を迎え思うこと

小川原

川村 啓一郎さん

1961年10月3日生まれで今年還暦を迎えました。



私は高校卒業後、東京の建設会社に就職し自由気ままな生活を送っていました。そんな中、私が27歳の時に父親が病に倒れ、他界してしまいました。それを機に上津江に帰郷し現在に至ります。

当時はこんな田舎に住みたくないと思ったものですが、60歳になりやっと田舎の良さがわかってきたような気がします。

上津江も少子高齢化が目まぐるしく進み、10年後がどうなっているのか想像もできません。また自分がどうすればいいのかと考えても何も浮かんできません。

まずは、健康に気をつけ、好きな酒を嗜み、たまに行く息子とのゴルフを楽しみたいと思っています。コロナの感染者も減少し終息の兆しが見えていたのですが、また新たな変異株が確認されまだまだ感染対策が必要な日々です。

最後に皆様のご健康、ご多幸を祈念いたしまして終わりと致します。



小平本村 松上あおぞらさん

8月29日にパトリア日田で開催された第1回HITA学生映像祭で松上あおぞらさん(高校1年)がグランプリを受賞しました。

—応募のきっかけは？

映画が好きで日田リベルテの高校生映像企画部“ブリコラージュ”というグループに参加していて、出品することになりました。

—どんな作品ですか？

時間もなかったなので、身近な自然、暮らしを題材にストレートに作りました。

—これからやってみたいことは何ですか？

映画やダンス、音楽など、出る側も作る側もやってみたい。それと同時に仕事も大事なので、大学も行きたい。全く違うものだけど、同時にがんばってみたいです。

ふるさと写真展 開催中！

旧小学校や神社、昭和の人々・風景、酒呑童子太鼓など懐かしの写真を展示しています。ぜひご覧ください。

■展示場所

上津江振興局
エントランスホール

■展示期間

12月28日まで

■問合せ 総務振興係

55-2011

★上津江の
きらきらさん★
地域でがんばる人を紹介します